

特別支援（自閉症・情緒）あゆみ2学級 自立活動学習指導案

日 時 令和3年11月25日（木） 5校時

児 童 3年 女1名

授 業 者

1 題材名 「いろいろな顔」（ソーシャルスキルトレーニング）

2 題材設定の理由

（1）児童について

あゆみ2学級は自閉症・情緒障がい学級で、A子は自閉症スペクトラム傾向の児童である。A子はいつも穏やかに接している人に対して挨拶をしたり、簡単な会話をしたりするが、特別支援学級在籍児童やALTの先生には近づこうとしない。全校朝会など大勢いても整然と並び静かに話を聞く集会には参加できるようになってきたが、休み時間は教室で過ごすことを好み、たくさんのこどもたちが外で遊ぶ姿を見るとカーテンを引いてしまう。一日の流れが分かると、自分でめあてを決め、頑張ろうとする態度が見られる。縦割り班掃除を通して、小集団と関わりを持てるようになってきているので、さらに交流学級との関わりを広げていきたい。

穏やかに過ごす時間は増えたが、自分の欲する物が無いとパニックを起こすという状況は変わらないことから、気持ちの学習を通して少しでも自己認知を促し対処の方法を知ることが落ち着いた生活につながると考える。学習面では、3年当初は読み聞かせや音楽を聴くことを嫌がっていたが、自然に声や音が鳴っている環境づくりを心がけた結果、9月ごろには歌を口ずさんだり、読み聞かせに参加したりするようになってきている。

（2）題材について

気持ちに合った表情がなかなかできなかつたり、友だちの気持ちを汲み取れずにうまくコミュニケーションがとれなかつたりすることから、4つの気持ちを取り上げて学習することとする。その中で気持ちに合った顔の表情を知ったり、顔の表情から気持ちを読み取ったりすることから、「きもち」についての理解を深めたい。また、その顔に伴う気持ちと言葉を繋げる活動を通して語彙を増やし、思いや考えを表現できるようになることでパニックを減らしていきたい。さらに他者とのコミュニケーション能力を身につけさせたいと考えて設定した。

「特別支援学校学習指導要領解説、自立活動編・第6章自立活動の内容」の中から照らし合わせてみると、「2心理的な安定（1）感情の安定に関すること（2）状況の理解と変化への対応に関すること」「3人間関係の形成（1）他者とのかかわりの基礎に関すること（2）他者の意図や感情の理解に関すること（3）自己の理解と行動の調整に関すること」、「4環境の把握（4）感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること」、「6コミュニケーション（1）コミュニケーションの基礎能力に関すること（3）言語の形成と活用に関すること（5）状況に応じたコミュニケーションに関すること」の9項目をこの題材で指導していく。

（3）指導にあたって

本題材では、「うれしいきもち」「かなしいきもち」「おこったきもち」「こまるきもち」の4

つの気持ちを取りあげることとした。「うれしいきもち」の学習では、一緒に活動することの大切さに気づかせ、コミュニケーションを図ろうとする積極的な態度を養いたい。また、「かなしいきもち」「こまるきもち」の学習では、自分のとるべき表情と共に、困り感を持ったり途方に暮れていたりにしている友だちにどう接すればいいのかを理解できるようにしたい。さらに「おこったきもち」の学習では、気持ちを絵や言葉で表現することで相手にも伝わり現状を解決できることを知らせ、パニックを起こさずに落ち着いた生活を送ることができるようにしたい。

本時は、嬉しさや悲しさが内容からも挿絵からも分かりやすい絵本を読み聞かせ、感情に合った表情絵カードを見つけさせる活動を通して気持ちに気づききっかけを作りたい。さらにその顔の表情に合った言葉を当てはめながら、自分の言葉で気持ちを表す活動に広げたい。その際、普段から気に入っているキャラクターを実際に動かしながら気持ちや考えを深めていきたい。

3 題材の目標

(1) 実態把握

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい場所や活動には不安になりやすく、取り組みを渋る傾向が見られるが、見通しが持てるようになると自分から取り組むことができる。 ・自分の思い通りにならないと情緒が不安定になり、混乱する場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の教師とのかかわりが中心である。 ・縦割り班での掃除活動はルーティン化し参加できる。 ・集団から孤立していることが多い。 ・友達と協力して活動することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や工作に強い興味を示すなど視覚優位の側面が見られる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・絵や工作で自分の思いや要求を伝えることが多い。 ・受け入れた人たちとは穏やかに過ごすことができる。 ・音に敏感である。特に怒った声や悲しい声が聞こえると情緒不安定になる。 ・一方的な話で終わることが多い。

(2) 指導目標の設定

- いろいろな気持ちがあることを知る。
- 4つの気持ちとその表情を結び付けることができる。

4 指導計画 (6時間)

時間	題材名	内容
1時間	いろいろな顔 「うれしいきもち」	嬉しい気持ちやそのときの顔の表情について知り、嬉しい気持ちのときの対応の仕方を理解する。
1時間	いろいろな顔 「かなしいきもち」	悲しい気持ちやそのときの顔の表情について知り、悲しい気持ちのときの対応の仕方を理解する。
1時間	いろいろな顔 「おこったきもち」	怒った気持ちやそのときの顔の表情について知り、怒った気持ちのときの対応の仕方を理解する。
1時間	いろいろな顔 「こまったきもち」	困った気持ちやそのときの顔の表情について知り、困った気持ちのときの対応の仕方を理解する。

1時間	いろいろな顔 (絵本の読み聞かせから)	絵本の内容から気持ちやそのときの顔の表情について考える。
1時間 (本時)	いろいろな顔 (絵本の読み聞かせから)	絵本の内容から気持ちやそのときの顔の表情について考える。

5 本時の指導

(1) ねらい

絵本の内容から顔の表情と気持ちについて考え、自分の言葉と絵で気持ちを表現しようとする態度を養う。

(2) 展開

階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の意図・留意点
つかむ 3分	1 本時のめあてと学習内容を知る。 がまくんのきもちを考えよう。 ・話を聞く。 ・顔カードをえらぶ。 ・教師と気持ちを考える。		<ul style="list-style-type: none"> ・「ドラえもんキャラクター」と絵描きの道具を机に置き、落ち着いて学習に向かうことができるようにする。 ・学習内容をいつもの連絡ボードで視覚的に知らせ、見通しを持ったり、立ち返ったりしながら取り組めるようにする。
ふかめる ・みつめる 30分	2 「お手紙」の話を聞く。 3 感情に合った表情絵カードを見つけて、気持ちを考える。 ○玄関に座っている時のがまくんはどんな顔をしていますか。カードを選びましょう。 ○どうして? ○なんと言っているでしょう。 ○がまくんに何とってあげますか。	<p>絵本の前半</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 悲しい顔のカード ・ 誰からもお手紙がなくて悲しい。 ・ かなしいなあ。 ・ 誰か手紙をくれないかな。 ・ お手紙あげるからね。まっいてね。 ・ がまくん、かわいそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年国語「お手紙」の話を大きな挿絵とひらがなを中心とした文章に直した絵本を使うことで授業に対する緊張を和らげる。 ・ 2段階に分けて読み聞かせを行い、その場面の表情から気持ちを考えさせていく。 ・ 児童の表情や何気ない言葉を細かく見取り、気持ちの表現につなげる。 ・ 自分の言葉でマッチングの説明ができた時には称賛し意欲を高める。 ・ 絵を描いたり、いつも使っているコップのキャラクターを動かしたりしながら話すように声がけをする。

	<p>○また玄関の前に座っているね。この時のがまくんはどんな顔をしていますか。カードを選びましょう。</p> <p>○どうして?</p> <p>○なんと知っているでしょう。</p> <p>○がまくんに何とってあげますか。</p> <p>○かえるくんはどんな顔をしていますか。なぜですか。</p>	<p>絵本の後半</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・うれしい顔のカード ・かえる君からお手紙もらったから、うれしい。 ・うれしいな。かえる君ありがとう。 ・よかったね。 ・うれしい顔。がま君が喜んでくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・がまくんに言う言葉を考えさせることで自己の行動に触れていく。 ・玄関前でふたりの様子を比較して、前半と後半では気持ちが違うことに気づかせたい。 ・自分の言葉で表現できない場合は気持ちカードから選ばせる。 ・絵で表現していいことを知らせる。 ・ドラえもんキャラクターに置き換えて、がま君やかえる君に対する気持ちを表現することが予測される。その際にも細かく見取っていく。 ・ふたりとも、嬉しい気持ちであることに気づかせたい。
ひろげる 12分	<p>4 今日の学習の感想を話す。</p> <p>○お話を勉強してみて、どう思いましたか。</p> <p>5 児童の嬉しい行いを紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お手紙をもらって、よかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を描いたり、コップのキャラクターを動かしたりしながら話させる。 ・内容だけでなく、感想を話すように話に加わり声掛けをしながら進めていく。児童の生活にも触れてみたい。

(3) 評価の視点

○絵本の内容から顔の表情と気持ちについて考え、自分の言葉と絵で気持ちを表現していたか。

(4) 板書計画

